

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オーテック

コード番号 1736 URL <http://www.o-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神馬 貢一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 市原 伸一

TEL 03-3699-0411

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,804	1.8	461	68.1	492	64.7	259	100.2
26年3月期第3四半期	13,563	5.1	274	△32.0	299	△35.2	129	△46.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 404百万円 (102.5%) 26年3月期第3四半期 199百万円 (△19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	50.46	—
26年3月期第3四半期	25.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	19,419	9,970	50.5	1,904.31
26年3月期	18,802	9,571	50.1	1,831.45

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,803百万円 26年3月期 9,427百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当金の内訳 27年3月期期末(予想) 普通配当 18円00銭 26年3月期期末 普通配当 15円00銭 記念配当 8円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	1.3	920	△9.9	960	△9.7	540	△2.8	104.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	5,700,000 株	26年3月期	5,700,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	551,783 株	26年3月期	552,183 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	5,147,938 株	26年3月期3Q	5,147,817 株

(注) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口・75646口)が保有する当社株式を期末発行済株式数から控除する自己株式数(26年3月期は102,000株、27年3月期3Qは101,600株)に含めており、また、期中平均株式数の控除する自己株式数(27年3月期3Qは101,879株)に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府や日銀による経済・金融政策により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で円安進行による原材料価格の上昇や消費税増税後の反動による個人消費の回復遅れなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する建設業界は、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資も企業業績の改善するなか増加基調にあります。建設資材価格や労務費など、建設コストの上昇により引き続き厳しい受注環境にあります。

このような経済環境下にありまして、当社グループはグループ間の連携による受注拡大、原価管理の徹底による利益確保に重点を置いた活動に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は138億4百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。また、利益につきましては、営業利益は4億61百万円（同68.1%増）、経常利益は4億92百万円（同64.7%増）、四半期純利益は2億59百万円（同100.2%増）となりました。

なお、当社グループの工事業における売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、業績には季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

管工機材販売事業につきましては、売上高は69億58百万円（前年同四半期比1.1%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は1億13百万円（前年同四半期は営業損失77百万円）となりました。

工事業につきましては、新設工事及び既設工事の売上高が増加したことにより、売上高は66億18百万円（前年同四半期比5.1%増）となり、営業利益は7億35百万円（同60.7%増）となりました。

工事業における完成工事高は65億3百万円（前年同四半期比5.8%増）となり、新設工事が26億85百万円（同8.2%増）、既設工事が26億59百万円（同4.9%増）、保守工事が11億58百万円（同2.6%増）となりました。

また、工事業における受注工事高は102億15百万円（同6.1%増）となり、新設工事が47億53百万円（同17.2%増）、既設工事が39億58百万円（同3.6%減）、保守工事が15億3百万円（同2.7%増）となりました。

環境機器販売事業につきましては、売上高は2億27百万円（前年同四半期比40.2%減）となり、営業損失は9百万円（前年同四半期は営業利益12百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産の部は前連結会計年度末に比べて6億17百万円増加し194億19百万円、負債の部は2億18百万円増加し94億48百万円、純資産の部は3億99百万円増加し99億70百万円となりました。

資産の部の主な増減要因のうち、増加要因といたしましては、未成工事支出金が15億25百万円増加したことによるものであり、減少要因といたしましては、売上債権であります受取手形及び売掛金並びに営業未収入金の合計額が18億56百万円減少したことによるものであります。

負債の部の主な増減要因のうち、増加要因といたしましては、未成工事受入金が6億34百万円増加したことによるものであり、減少要因といたしましては、仕入債務であります支払手形及び買掛金が4億34百万円、未払法人税等が3億5百万円減少したことによるものであります。

純資産の部の主な増加要因といたしましては、利益剰余金が2億55百万円、その他有価証券評価差額金が1億12百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月12日に発表した公表数値に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が182,246千円減少し、繰延税金負債が64,879千円及び利益剰余金が117,366千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を負債に計上しております。当該会計方針の変更による過年度の累積的影響については、影響額が軽微なため、当第3四半期連結累計期間の損益で処理しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,832,064	5,041,642
受取手形及び売掛金	6,731,830	5,370,303
営業未収入金	1,967,621	1,472,453
有価証券	20,620	20,628
商品	388,101	401,092
未成工事支出金	1,218,603	2,744,522
原材料及び貯蔵品	52,707	55,066
繰延税金資産	160,687	108,705
その他	102,916	144,659
貸倒引当金	△19,990	△21,464
流動資産合計	15,455,164	15,337,610
固定資産		
有形固定資産	1,608,613	1,586,479
無形固定資産	61,469	186,481
投資その他の資産		
投資有価証券	1,056,923	1,457,522
退職給付に係る資産	8,430	117,313
その他	654,264	774,801
貸倒引当金	△42,736	△40,880
投資その他の資産合計	1,676,882	2,308,756
固定資産合計	3,346,964	4,081,718
資産合計	18,802,129	19,419,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,930,009	5,495,146
短期借入金	1,235,744	1,393,744
未払法人税等	431,253	125,583
未成工事受入金	475,118	1,109,543
賞与引当金	252,381	177,389
役員賞与引当金	37,500	26,950
完成工事補償引当金	17,790	6,690
工事損失引当金	—	7,200
その他	309,031	393,449
流動負債合計	8,688,828	8,735,696
固定負債		
長期借入金	88,198	71,890
繰延税金負債	47,439	161,083
再評価に係る繰延税金負債	132,393	132,393
株式給付引当金	—	24,012
役員退職慰労引当金	69,265	71,582
退職給付に係る負債	83,304	7,875
その他	121,129	244,129
固定負債合計	541,729	712,966
負債合計	9,230,557	9,448,663
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	599,400	599,400
資本剰余金	553,984	553,984
利益剰余金	8,847,331	9,103,128
自己株式	△281,447	△281,160
株主資本合計	9,719,268	9,975,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158,238	270,950
土地再評価差額金	△367,869	△367,869
退職給付に係る調整累計額	△81,659	△74,623
その他の包括利益累計額合計	△291,290	△171,543
少数株主持分	143,593	166,855
純資産合計	9,571,571	9,970,665
負債純資産合計	18,802,129	19,419,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	13,563,382	13,804,135
売上原価	11,337,228	11,326,333
売上総利益	2,226,154	2,477,802
販売費及び一般管理費	1,951,521	2,016,233
営業利益	274,633	461,568
営業外収益		
受取配当金	19,605	19,806
受取賃貸料	13,014	14,548
持分法による投資利益	—	10,466
その他	17,195	16,122
営業外収益合計	49,815	60,944
営業外費用		
支払利息	12,643	15,453
不動産賃貸費用	6,267	10,129
持分法による投資損失	2,267	—
その他	3,995	3,986
営業外費用合計	25,173	29,569
経常利益	299,274	492,943
特別利益		
固定資産売却益	1,332	4,417
特別利益合計	1,332	4,417
特別損失		
固定資産売却損	180	4,918
固定資産除却損	523	90
投資有価証券評価損	315	—
特別損失合計	1,018	5,008
税金等調整前四半期純利益	299,589	492,352
法人税、住民税及び事業税	123,381	171,500
法人税等調整額	31,954	36,675
法人税等合計	155,335	208,176
少数株主損益調整前四半期純利益	144,253	284,175
少数株主利益	14,485	24,423
四半期純利益	129,767	259,752



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144,253	284,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,459	111,059
退職給付に係る調整額	—	7,035
持分法適用会社に対する持分相当額	780	1,733
その他の包括利益合計	55,240	119,828
四半期包括利益	199,493	404,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,951	379,500
少数株主に係る四半期包括利益	14,541	24,504

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。